

(4) 自傷行為に関連する要因の2変量解析(表78)(表79)

表78に高校2年生男子の自傷行為に関連する要因を示した。まず、高2男子の自傷行為と強い関連(粗オッズ比 >2)を示した要因は、「家族との会話がほとんどないこと」、「放課後の行動を親がまったく知らないこと」、「親が子どもを理解しようとしていないこと」、「夜10時以降によく外出すること」、「アルバイトの経験があること」、「現在していること」、「喫煙経験があること」、「学校生活を楽しんでいないこと」、「学校を辞めたいと思ったことがあること」、「先生が生徒に平等に接していないと感じること」、「高2になってから、周囲の人に非常に腹が立つことがあった」、「高2になってから、泣きたいほどつらい気持ちになったことがある」で、その中でも、「タバコをよくすうこと」、「高2になってから泣きたい気持ちになることが時々あったこと」が特に強い関連(粗オッズ比 $=5.6$)を示し、さらに、「高2になってから周囲の人に非常に腹が立つことがよくあった」(粗オッズ比 $=9$)、「高2になってから泣きたい気持ちになることがよくあった」(粗オッズ比 $=16$)は極めて強い関連を示した。ただし、女子では関連の見られた「家族そろって食事をするのがないこと」では弱い関連にとどまった(粗オッズ比 <2)。

表79に高校2年生女子の自傷行為に関連する要因を示した。高2女子の自傷行為と強い関連(粗オッズ比 >2)を示した要因は、「家族との会話がほとんどないこと」、「家族そろっての食事がまったくないこと」、「放課後の行動を親があまり知らないこと」、「親が子どもを理解しようとしていないこと」、「夜10時以降によく外出すること」、「現在飲酒していること」、「喫煙経験があること」、「学校生活を楽しんでいないこと」、「学校を辞めたいと思ったことがあること」、「先生が生徒に平等に接していないと感じること」、「高2になってから、周囲の人に非常に腹が立つこと」、「高2になってから、泣きたいほどつらい気持ちになったことがあること」、「毎日を大切に生きようとしていると思えないこと」で、その中でも、「高2になってから泣きたいほどつらい気持ちにときどきあったこと」、「高2になってから周囲の人に非常に腹が立つことが時々あったこと」が特に強い関連(粗オッズ比 $=5.9$)を示し、さらに、「高2になってから、周囲の人に非常に腹が立つことがよくあること」、「高2になってから、泣きたいほどつらい気持ちになることがよくあったこと」は極めて強い関連(粗オッズ比 $=17.18$)を示した。ただし、男子では関連の見られた「アルバイトの経験があること」では弱い関連にとどまった(粗オッズ比 <2)。

表 78. 高校生の自傷行為と関連する因子 (高校2年生) (男子)

		人数	容認者数	%	粗 OR	95%CI	P値
家族との会話頻度	よくする	1617	74	4.6	1.00		
	たまにする	1068	51	4.8	1.05	0.73-1.51	0.811
	ほとんど/まったくしない	210	20	9.5	2.20	1.31-3.68	0.003
家族そろっての食事頻度	毎日	1006	44	4.4	1.00		
	週2回以上	956	44	4.6	1.06	0.69-1.62	0.807
	週1回	427	17	4.0	0.91	0.51-1.61	0.737
	月1回-2回	228	16	7.0	1.65	0.91-2.98	0.097
	ない	234	19	8.1	1.93	1.11-3.38	0.021
高校生の放課後の行動を親が把握しているか	すべて知っていると思う	211	8	3.8	1.00		
	だいたい知っていると思う	1515	58	3.8	1.01	0.48-2.15	0.979
	あまり知らないと思う	648	36	5.6	1.49	0.68-3.26	0.316
	まったく知らないと思う	349	31	8.9	2.47	1.12-5.49	0.026
親はあなたのことを理解しようとしているか	はい	1485	60	4.0	1.00		
	いいえ	175	20	11.4	3.07	1.80-5.22	0.000
夜10時以降の外出頻度	まったくない	533	16	3.0	1.00		
	めったにない	1040	37	3.6	1.19	0.66-2.16	0.564
	たまにある	900	51	5.7	1.94	1.10-3.44	0.023
	よくある	420	41	9.8	3.50	1.93-6.32	0.000
アルバイト経験	いいえ	1905	70	3.7	1.00		
	はい	983	75	7.6	2.17	1.55-3.03	0.000
飲酒経験	なし	853	25	2.9	1.00		
	以前	832	33	4.0	1.37	0.81-2.32	0.245
	たまにのむ	961	56	5.8	2.05	1.27-3.32	0.003
	よくのむ	239	31	13.0	4.94	2.85-8.54	0.000
喫煙経験	なし	2105	69	3.3	1.00		
	以前	476	33	6.9	2.20	1.43-3.37	0.000
	たまにすう	88	6	6.8	2.16	0.91-5.12	0.080
	よくすう	219	37	16.9	6.00	3.91-9.20	0.000
学校生活を楽しんでいるか	はい	1893	69	3.6	1.00		
	いいえ	424	51	12.0	3.61	2.48-5.28	0.000
学校を辞めたいと思ったことがあるか	いいえ	1499	41	2.7	1.00		
	はい	1030	86	8.3	3.24	2.21-4.74	0.000
先生は生徒に平等に接していると思うか	はい	527	13	2.5	1.00		
	いいえ	1601	100	6.2	2.63	1.47-4.74	0.001
周囲の人に非常に腹が立った頻度	なし	180	2	1.1	1.00		
	たまに	857	24	2.8	2.56	0.60-10.95	0.204
	ときどき	799	28	3.5	3.23	0.76-13.69	0.111
	よくあった	924	86	9.3	9.13	2.23-37.46	0.002
泣きたいほどつらい気持ちの頻度	なし	842	10	1.2	1.00		
	たまに	945	41	4.3	3.77	1.88-7.58	0.000
	ときどき	409	24	5.9	5.19	2.46-10.96	0.000
	よくあった	311	51	16.4	16.32	8.17-32.60	0.000
将来実現したい夢があるか	ある	1613	83	5.1	1.00		
	ない	545	35	6.4	1.27	0.84-1.90	0.258
毎日を大切に生きようとしているか	はい	1457	56	3.8	1.00		
	いいえ	525	54	10.3	2.87	1.95-4.23	0.000

表 79. 高校生の自傷行為と関連する因子（高校2年生）（女子）

		人数	容認者数	%	粗 OR	95%CI	P値
家族との会話頻度	よくする	2186	176	8.1	1.00		
	たまにする	549	76	13.8	1.84	1.38-2.45	0.000
	ほとんど/まったくしない	105	23	21.9	3.20	1.97-5.22	0.000
家族そろっての食事頻度	毎日	1054	78	7.4	1.00		
	週2回以上	823	76	9.2	1.27	0.92-1.77	0.152
	週1回	473	54	11.4	1.61	1.12-2.32	0.010
	月1回-2回	238	26	10.9	1.54	0.96-2.45	0.073
	ない	202	30	14.9	2.18	1.39-3.43	0.001
高校生の放課後の行動を親が把握しているか	すべて知っていると思う	285	21	7.4	1.00		
	だいたい知っていると思う	1805	134	7.4	1.01	0.63-1.63	0.974
	あまり知らないと思う	499	85	17.0	2.58	1.56-4.26	0.000
	まったく知らないと思う	168	29	17.3	2.62	1.44-4.77	0.002
親はあなたのことを理解しようとしているか	はい	1611	113	7.0	1.00		
	いいえ	214	43	20.1	3.33	2.27-4.9	0.000
夜10時以降の外出頻度	まったくない	776	64	8.2	1.00		
	めったにない	1042	76	7.3	0.88	0.62-1.24	0.451
	たまにある	804	94	11.7	1.47	1.05-2.06	0.023
	よくある	217	41	18.9	2.59	1.69-3.97	0.000
アルバイト経験	いいえ	1552	116	7.5	1.00		
	はい	1282	159	12.4	1.75	1.36-2.25	0.000
飲酒経験	なし	835	48	5.7	1.00		
	以前	767	61	8.0	1.42	0.96-2.10	0.081
	たまにのむ	1070	133	12.4	2.33	1.65-3.28	0.000
	よくのむ	151	33	21.9	4.59	2.83-7.44	0.000
喫煙経験	なし	2322	167	7.2	1.00		
	以前	331	62	18.7	2.97	2.16-4.09	0.000
	たまにすう	76	19	25.0	4.30	2.50-7.40	0.000
	よくすう	104	27	26.0	4.53	2.84-7.21	0.000
学校生活を楽しんでいるか	はい	1924	125	6.5	1.00		
	いいえ	332	65	19.6	3.50	2.53-4.86	0.000
学校を辞めたいと思ったことがあるか	いいえ	1258	57	4.5	1.00		
	はい	1244	196	15.8	3.94	2.90-5.35	0.000
先生は生徒に平等に接していると思うか	はい	384	21	5.5	1.00		
	いいえ	1658	203	12.2	2.41	1.52-3.84	0.000
周囲の人に非常に腹が立った頻度	なし	99	1	1.0	1.00		
	たまに	773	35	4.5	4.65	0.63-34.30	0.132
	ときどき	838	72	8.6	9.21	1.27-67.03	0.028
	よくあった	1024	163	15.9	18.55	2.57-133.98	0.004
泣きたいほどつらい気持ちの頻度	なし	254	4	1.6	1.00		
	たまに	866	45	5.2	3.43	1.22-9.62	0.019
	ときどき	776	58	7.5	5.05	1.81-14.05	0.002
	よくあった	743	160	21.5	17.15	6.29-46.77	0.000
将来実現したい夢があるか	ある	1723	160	9.3	1.00		
	ない	439	58	13.2	1.49	1.08-2.05	0.015
毎日を大切に生きようとしているか	はい	1421	85	6.0	1.00		
	いいえ	389	73	18.8	3.63	2.60-5.08	0.000

◆多変量解析

主成分分析

変数の分類を行うために、主成分分析を実施した。回転法（Kaiser の正規化を伴うバリマックス法）による回転後の成分行列を表 80（男子）、表 81（女子）に示した。その結果、変数は以下の 5 つの因子に分類された；①<家庭外活動>因子：「アルバイト経験」「夜 10 時以降の外出頻度」「携帯電話メール交換頻度」「家庭学習時間」、②<精神状態/学校>因子：「泣きたいほどつらい気持ちの頻度」「周囲の人に非常に腹が立った頻度」「学校の先生の生徒への接し方」「学校をやめたいと思った経験」、③<生きる意欲>因子：「学校が楽しいか」「将来実現したい夢があるか」「毎日を大切に生きているか」、④<家族関係>因子：「家族との会話頻度」「家族そろっての食事頻度」「放課後の行動を親が把握しているか」「親は子どもを理解しようとしているか」、⑤<個室>因子：「家庭内の個室の有無」。

表 80. 回転後の成分行列（男子）

変数	家庭外活動	精神状態/学校	生きる意欲	家族関係	個室
1 アルバイト経験	0.714	0.073	0.055	0.040	-0.124
2 夜 10 時以降の外出頻度	0.533	0.163	0.010	0.202	0.240
3 携帯電話メール交換頻度	0.517	0.155	-0.093	0.067	0.424
4 家庭学習時間	0.632	0.011	0.029	-0.043	-0.152
5 泣きたいほどつらい気持ちの頻度	-0.055	0.670	-0.204	0.049	0.031
6 周囲の人に非常に腹が立つ頻度	0.095	0.686	0.072	0.063	0.021
7 先生は生徒に平等に接しているか	0.202	0.504	0.260	-0.001	0.008
8 学校を辞めたいと思った経験	0.233	0.518	0.373	0.114	0.034
9 学校が楽しいか	-0.021	0.307	0.556	0.055	-0.089
10 将来の夢	0.123	-0.225	0.652	0.009	0.050
11 毎日を大切に生きようとしているか	-0.095	0.129	0.713	0.088	0.022
12 家族との会話頻度	-0.083	-0.009	-0.019	0.724	0.027
13 家族そろっての食事頻度	0.256	0.039	-0.038	0.436	0.038
14 放課後の行動を親が把握しているか	0.207	-0.026	0.144	0.601	0.021
15 親は子どもを理解しようとしているか	-0.135	0.216	0.104	0.542	-0.091
16 家庭に個室を持っているか	-0.126	-0.002	0.038	-0.032	0.886

表 81. 回転後の成分行列（女子）

変数	精神状態/学校	家庭外活動	生きる意欲	家族関係	個室
1 アルバイト経験	0.090	0.659	0.057	0.068	-0.142
2 夜 10 時以降の外出頻度	0.206	0.596	-0.037	0.248	0.209
3 携帯電話メール交換頻度	0.182	0.576	-0.164	0.065	0.262
4 家庭学習時間	-0.099	0.574	0.159	-0.072	-0.204
5 泣きたいほどつらい気持ちの頻度	0.658	-0.045	-0.195	-0.094	-0.004
6 周囲の人に非常に腹が立つ頻度	0.652	0.095	0.003	0.072	-0.029
7 先生は生徒に平等に接しているか	0.481	0.089	0.170	0.088	0.110
8 学校を辞めたいと思った経験	0.596	0.153	0.292	0.076	-0.011
9 学校が楽しいか	0.367	-0.001	0.523	0.100	-0.038
10 将来の夢	-0.087	0.052	0.709	0.001	0.022
11 毎日を大切に生きようとしているか	0.091	-0.012	0.707	0.099	0.024
12 家族との会話頻度	0.061	-0.065	0.065	0.696	0.041
13 家族そろっての食事頻度	-0.013	0.196	0.027	0.504	0.103
14 放課後の行動を親が把握しているか	-0.047	0.190	0.051	0.573	-0.007
15 親は子どもを理解しようとしているか	0.213	-0.143	0.051	0.548	-0.197
16 家庭に個室を持っているか	0.022	-0.053	0.052	-0.008	0.899

◆多重ロジスティック回帰分析

単変量分析の結果（表 74）に基づいて、各変数を表 74-1 の様に 2 区分変数化した。さらに変数間の一致率を検討したが、いずれも一致率 0.7 を超える関連を持つものが存在しなかったため、全変数を一括で投入して分析を行った。ただし、「飲酒経験」「喫煙経験」は、同じ問題行動の一種と考え、説明変数には加えなかった。

表 74-1. 各変数の 2 区分変数化

変数	区分	変数	区分
1 アルバイト経験	なし	8 学校を辞めたいと思った経験	ない
	あり		わからない
2 夜 10 時以降の外出頻度	まったくない	9 学校を楽しんでいるか	ある
	めったにない		はい
	たまにある		わからない
	よくある		いいえ
3 携帯電話のメール交換頻度	0-5 回	10 将来実現したい夢があるか	ある
	6-10 回		わからない
			ない
	11-20 回	11 毎日を大切に生きようとしているか	はい
	21-30 回		わからない
	31-40 回		いいえ
41 回以上			
4 家庭での学習時間	3 時間以上	12 家族との会話頻度	よくする
	2 時間		たまにする
	1 時間以内		ほとんどしない
	まったくしない		まったくしない
5 泣きたいほどつらい気持ちの頻度	なし	13 家族そろっての食事頻度	毎日
	たまにあった		週 2 回以上
	時々あった		週 1 回
	よくあった		月 1 回-2 回
			まったくない
6 周囲の人に非常に腹が立つ頻度	なし	14 放課後の行動を親が把握しているか	はい
	たまにあった		いいえ
	時々あった	15 親は子どもを理解しようとしているか	はい
よくあった	いいえ		
7 先生は生徒に平等に接しているか	はい	16 家庭に個室を持っているか	いいえ
	わからない		はい
	いいえ		

(1) 性意識に関連する要因の多変量解析 (表 82) (表 83)

性意識 (高校 2 年生が、自分のこととして性関係を容認する意識 = 「かまわない」 + 「どちらかと言えばかまわない」) に関連する要因の、多重ロジスティック回帰分析を行った。

男子では、「アルバイト経験がある」 (調整 OR=1.4) 「夜 10 時以降の外出頻度が高い」 (調整 OR=1.9) 「携帯電話のメール交換頻度が高い」 (調整 OR=2.9) 「家庭学習時間少ない」 (調整 OR=1.8) など<家庭外活動因子>の全てにおいて、性関係容認意識と統計的に有意の関連を示した。さらに、「学校の先生が生徒に平等に接していないと感じる」 (調整 OR=1.5) 「学校を辞めたいと思ったことがある」 (調整 OR=1.4) など学校関連因子や、「家庭内に個室を持っている」 (調整 OR=1.3) ことも性関係容認意識との有意の関連を示した (表 82)。

一方、女子でも、全体として男子とほぼ同様の傾向が観察され、「アルバイト経験がある」 (調整 OR=1.9) 「夜 10 時以降の外出頻度が高い」 (調整 OR=1.7) 「携帯電話のメール交換頻度が高い」 (調整 OR=2.3) など<家庭外活動因子>において、性関係容認意識と統計的に有意の関連を示したが、「家庭学習時間が少ない」は有意の関連を示さなかった。また、男子と同じく「学校の先生が生徒に平等に接していないと感じる」 (調整 OR=1.4) 「学校を辞めたいと思ったことがある」 (調整 OR=1.5) などの学校関連因子や、「家庭内に個室を持っている」 (調整 OR=1.5) ことも性関係容認意識との有意の関連を示した (表 83) が、それに加えて、「将来実現したい夢がない」 (調整 OR=1.3) や「放課後の行動を親が把握していない」 (調整 OR=1.6) など男子とは異なる変数との有意の関連が観察された。

表 82. 高校生の性関係の容認意識と関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (男子)

変数		調整 OR	95%CI	P値
アルバイト経験	なし	1.00		
	あり	1.37	1.10-1.71	0.004
夜 10 時以降の外出頻度	全く/めったにない	1.00		
	たまに/よくある	1.92	1.56-2.36	0.000
携帯電話メール交換頻度 (一日)	10 回以下	1.00		
	11 回以上	2.90	2.38-3.54	0.000
家庭学習時間	2 時間以上	1.00		
	1 時間以内	1.75	1.40-2.18	0.000
泣きたいほどつらい気持ちの頻度	なし	1.00		
	あり	1.14	0.94-1.38	0.181
周囲の人に非常に腹が立つ頻度	全く/たまにあった	1.00		
	時々/よくあった	1.21	0.99-1.47	0.062
先生は生徒に平等に接しているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.54	1.28-1.87	0.000
学校を辞めたいと思った経験	いいえ/わからない	1.00		
	はい	1.40	1.12-1.75	0.003
学校が楽しいか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	0.77	0.57-1.03	0.075
将来の夢	ある/わからない	1.00		
	ない	0.83	0.65-1.05	0.123
毎日を大切に生きようとしているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.15	0.88-1.49	0.310
家族との会話頻度	よく/たまにする	1.00		
	ほとんど/全くない	1.09	0.73-1.64	0.677
家族そろっての食事頻度	週 2 回以上	1.00		
	週 1 回以下	1.15	0.93-1.42	0.207
放課後の行動を親が把握しているか	はい	1.00		
	いいえ	1.13	0.93-1.38	0.217
親はこどもを理解しようとしているか	はい	1.00		
	いいえ	1.01	0.65-1.56	0.964
家庭に個室を持っているか	いいえ	1.00		
	はい	1.32	1.04-1.66	0.021

表 83. 高校生の性関係の容認意識と関連する要因（多重ロジスティック回帰分析）（女子）

変数		調整 OR	95%CI	P値
アルバイト経験	なし	1.00		
	あり	1.88	1.57-2.26	0.000
夜 10 時以降の外出頻度	全く/めったにない	1.00		
	たまに/よくある	1.71	1.41-2.07	0.000
携帯電話メール交換頻度（一日）	10 回以下	1.00		
	11 回以上	2.30	1.92-2.75	0.000
家庭学習時間	2 時間以上	1.00		
	1 時間以内	1.15	0.93-1.41	0.190
泣きたいほどつらい気持ちの頻度	なし	1.00		
	あり	1.10	0.87-1.40	0.428
周囲の人に非常に腹が立つ頻度	全く/たまにあった	1.00		
	時々/よくあった	1.09	0.90-1.31	0.401
先生は生徒に平等に接しているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.44	1.20-1.72	0.000
学校を辞めたいと思った経験	いいえ/わからない	1.00		
	はい	1.47	1.22-1.78	0.000
学校が楽しいか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.16	0.86-1.56	0.324
将来の夢	ある/わからない	1.00		
	ない	1.33	1.03-1.70	0.026
毎日を大切に生きようとしているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	0.87	0.67-1.14	0.307
家族との会話頻度	よく/たまにする	1.00		
	ほとんど/全くない	1.41	0.84-2.35	0.193
家族そろっての食事頻度	週 2 回以上	1.00		
	週 1 回以下	1.14	0.94-1.37	0.182
放課後の行動を親が把握しているか	はい	1.00		
	いいえ	1.63	1.32-2.02	0.000
親は子どもを理解しようとしているか	はい	1.00		
	いいえ	0.89	0.63-1.25	0.484
家庭に個室を持っているか	いいえ	1.00		
	はい	1.51	1.23-1.84	0.000

(2) 性経験に関連する要因の多変量解析 (表 84) (表 85)

高校生の性経験に関連する要因の、多重ロジスティック回帰分析を行った。

男子では、「アルバイト経験がある」(調整 OR=2.0)「夜 10 時以降の外出頻度が高い」(調整 OR=2.2)「携帯電話のメール交換頻度が高い」(調整 OR=4.5) など<家庭外活動因子>において、性経験と統計的に有意の関連を示した。さらに、「泣きたいほどつらい気持ちになる頻度が高い」(調整 OR=1.4)「周囲の人に非常に腹が立つ頻度が高い」(調整 OR=1.4)等の<精神状態>因子とも有意の関連を示し、「学校を辞めたいと思ったことがある」(調整 OR=1.5)の<学校関連因子>や、「家族そろっての食事頻度が少ない」(調整 OR=1.4)の<家族関係因子>も有意の関連が見られ、「家庭内に個室を持っている」(調整 OR=1.6)ことも性経験と有意の関連を示した(表 84)。ただし男子では「将来実現したい夢がない」(調整 OR=0.7)、「毎日を丁寧に生きようとしていない」(調整 OR=0.7) など<生きる意欲因子>では有意な逆関連が見られた。

一方、女子では、全体として男子とほぼ同様の傾向が観察され、「アルバイト経験がある」(調整 OR=2.0)「夜 10 時以降の外出頻度が高い」(調整 OR=1.7)「携帯電話のメール交換頻度が高い」(調整 OR=6.2) など<家庭外活動因子>において、性経験と統計的に有意の関連を示した。また、男子と同じく「泣きたいほどつらい気持ちになる頻度が高い」(調整 OR=2.2)の<精神状態因子>と有意の関連を見られたが、「周囲の人に非常に腹が立つ頻度が高い」とは有意の関連を示さなかった。さらに「学校を辞めたいと思ったことがある」(調整 OR=1.6)の<学校関連因子>や、「家族との会話頻度が高い」(調整 OR=1.7)「家族そろっての食事頻度が少ない」(調整 OR=1.3)の<家族関係因子>も有意の関連が見られ、「家庭内に個室を持っている」(調整 OR=1.4)ことも性経験と有意の関連を示した(表 85)。また女子では「毎日を丁寧に生きようとしていない」(調整 OR=1.5)でも性経験と有意の関連が観察された。

表 84. 高校生の性経験と関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (男子)

変数		調整 OR	95%CI	P値
アルバイト経験	なし	1.00		
	あり	1.97	1.57-2.47	0.000
夜 10 時以降の外出頻度	全く/めったにない	1.00		
	たまに/よくある	2.22	1.74-2.83	0.000
携帯電話メール交換頻度 (一日)	10 回以下	1.00		
	11 回以上	4.53	3.51-5.84	0.000
家庭学習時間	2 時間以上	1.00		
	1 時間以内	1.19	0.86-1.64	0.301
泣きたいほどつらい気持ちの頻度	なし	1.00		
	あり	1.36	1.07-1.72	0.012
周囲の人に非常に腹が立つ頻度	全く/たまにあった	1.00		
	時々/よくあった	1.38	1.07-1.77	0.012
先生は生徒に平等に接しているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.13	0.89-1.42	0.323
学校を辞めたいと思った経験	いいえ/わからない	1.00		
	はい	1.50	1.19-1.91	0.001
学校が楽しいか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.31	0.96-1.77	0.085
将来の夢	ある/わからない	1.00		
	ない	0.70	0.52-0.95	0.023
毎日を大切に生きようとしているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	0.72	0.53-0.98	0.035
家族との会話頻度	よく/たまにする	1.00		
	ほとんど/全くない	1.29	0.88-1.91	0.196
家族そろっての食事頻度	週 2 回以上	1.00		
	週 1 回以下	1.36	1.08-1.72	0.008
放課後の行動を親が把握しているか	はい	1.00		
	いいえ	0.80	0.64-1.01	0.058
親は子どもを理解しようとしているか	はい	1.00		
	いいえ	1.19	0.78-1.81	0.427
家庭に個室を持っているか	いいえ	1.00		
	はい	1.59	1.15-2.20	0.005

表 85. 高校生の性経験と関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (女子)

変数		調整 OR	95%CI	P値
アルバイト経験	なし	1.00		
	あり	2.00	1.61-2.49	0.000
夜 10 時以降の外出頻度	全く/めったにない	1.00		
	たまに/よくある	1.65	1.33-2.04	0.000
携帯電話メール交換頻度 (一日)	10 回以下	1.00		
	11 回以上	6.18	4.55-8.39	0.000
家庭学習時間	2 時間以上	1.00		
	1 時間以内	1.16	0.87-1.54	0.326
泣きたいほどつらい気持ちの頻度	なし	1.00		
	あり	2.20	1.54-3.15	0.000
周囲の人に非常に腹が立つ頻度	全く/たまにあった	1.00		
	時々/よくあった	0.93	0.73-1.18	0.527
先生は生徒に平等に接しているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.11	0.88-1.39	0.373
学校を辞めたいと思った経験	いいえ/わからない	1.00		
	はい	1.64	1.31-2.05	0.000
学校が楽しいか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.15	0.84-1.57	0.388
将来の夢	ある/わからない	1.00		
	ない	1.07	0.81-1.42	0.640
毎日を大切に生きようとしているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.46	1.08-1.97	0.014
家族との会話頻度	よく/たまにする	1.00		
	ほとんど/全くない	1.67	1.02-2.73	0.041
家族そろっての食事頻度	週 2 回以上	1.00		
	週 1 回以下	1.25	1.01-1.55	0.040
放課後の行動を親が把握しているか	はい	1.00		
	いいえ	1.24	0.99-1.54	0.063
親は子どもを理解しようとしているか	はい	1.00		
	いいえ	1.14	0.80-1.64	0.469
家庭に個室を持っているか	いいえ	1.00		
	はい	1.40	1.08-1.81	0.011

(3) 高校生の万引きに関連する要因の多変量解析 (表 86) (表 87)

高校生の万引きに関連する要因の、多重ロジスティック回帰分析を行った。

男子では、「アルバイト経験がある」(調整 OR=1.9)「夜 10 時以降の外出頻度が高い」(調整 OR=2.0)「携帯電話のメール交換頻度が高い」(調整 OR=1.6)「家庭での学習時間が少ない」(調整 OR=1.8) など<家庭外活動因子>において、万引きと統計的に有意の関連を示した。また「学校の先生が生徒に平等に接していない」(調整 OR=1.7)「学校を辞めたいと思ったことがある」(調整 OR=1.5) などの<学校関連因子>や、「家族との会話頻度が少ない」(調整 OR=1.6)「放課後の子どもの行動を親が把握していない」(調整 OR=1.4) の<家族関係因子>でも万引きと有意の関連を示した (表 86)。

一方、女子でも、全体として男子とほぼ同様の傾向が観察され、「アルバイト経験がある」(調整 OR=1.7)「夜 10 時以降の外出頻度が高い」(調整 OR=1.9)「家庭での学習時間が少ない」(調整 OR=1.6) など<家庭外活動因子>において、万引きと統計的に有意の関連を示した。ただし、男子と異なり女子では「携帯電話のメール交換頻度が高い」ことは万引きと有意の関連は見られなかった。また「学校の先生が生徒に平等に接していない」(調整 OR=1.8)「学校を辞めたいと思ったことがある」(調整 OR=1.9) などの<学校関連因子>や、「家族との会話頻度が少ない」(調整 OR=2.2)「放課後の子どもの行動を親が把握していない」(調整 OR=1.4) の<家族関係因子>も万引きと有意の関連を示した (表 87)。

表 86. 高校生の万引きと関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (男子)

変数		調整 OR	95%CI	P値
アルバイト経験	なし	1.00		
	あり	1.87	1.48-2.35	0.000
夜 10 時以降の外出頻度	全く/めったにない	1.00		
	たまに/よくある	1.96	1.53-2.52	0.000
携帯電話メール交換頻度 (一日)	10 回以下	1.00		
	11 回以上	1.56	1.23-1.97	0.000
家庭学習時間	2 時間以上	1.00		
	1 時間以内	1.84	1.28-2.64	0.001
泣きたいほどつらい気持ちの頻度	なし	1.00		
	あり	1.20	0.95-1.52	0.136
周囲の人に非常に腹が立つ頻度	全く/たまにあった	1.00		
	時々/よくあった	1.03	0.80-1.32	0.838
先生は生徒に平等に接しているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.73	1.35-2.21	0.000
学校を辞めたいと思った経験	はい	1.00		
	いいえ/わからない	1.51	1.19-1.92	0.001
学校が楽しいか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.12	0.83-1.50	0.474
将来の夢	ある/わからない	1.00		
	ない	1.11	0.84-1.47	0.467
毎日を大切に生きようとしているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.10	0.83-1.46	0.519
家族との会話頻度	よく/たまにする	1.00		
	ほとんど/全くない	1.60	1.11-2.30	0.012
家族そろっての食事頻度	週 2 回以上	1.00		
	週 1 回以下	1.13	0.90-1.43	0.301
放課後の行動を親が把握しているか	はい	1.00		
	いいえ	1.42	1.14-1.79	0.002
親は子どもを理解しようとしているか	はい	1.00		
	いいえ	1.07	0.71-1.61	0.765
家庭に個室を持っているか	はい	1.00		
	いいえ	1.06	0.79-1.44	0.690

表 87. 高校生の万引きと関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (女子)

変数		調整 OR	95%CI	P値
アルバイト経験	なし	1.00		
	あり	1.71	1.29-2.26	0.000
夜 10 時以降の外出頻度	全く/めったにない	1.00		
	たまに/よくある	1.94	1.48-2.54	0.000
携帯電話メール交換頻度 (一日)	10 回以下	1.00		
	11 回以上	1.18	0.87-1.61	0.282
家庭学習時間	2 時間以上	1.00		
	1 時間以内	1.57	1.06-2.33	0.025
泣きたいほどつらい気持ちの頻度	なし	1.00		
	あり	1.14	0.76-1.72	0.526
周囲の人に非常に腹が立つ頻度	全く/たまにあった	1.00		
	時々/よくあった	1.19	0.87-1.63	0.282
先生は生徒に平等に接しているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.78	1.31-2.40	0.000
学校を辞めたいと思った経験	いいえ/わからない	1.00		
	はい	1.85	1.39-2.46	0.000
学校が楽しいか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	0.87	0.61-1.24	0.444
将来の夢	ある/わからない	1.00		
	ない	1.01	0.72-1.41	0.964
毎日を大切に生きようとしているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.31	0.94-1.83	0.117
家族との会話頻度	よく/たまにする	1.00		
	ほとんど/全くない	2.22	1.34-3.69	0.002
家族そろっての食事頻度	週 2 回以上	1.00		
	週 1 回以下	1.21	0.93-1.56	0.156
放課後の行動を親が把握しているか	はい	1.00		
	いいえ	1.40	1.07-1.83	0.015
親は子どもを理解しようとしているか	はい	1.00		
	いいえ	1.08	0.71-1.63	0.725
家庭に個室を持っているか	いいえ	1.00		
	はい	1.14	0.84-1.55	0.393

(4) 高校生の自傷行為に関連する要因の多変量解析 (表 88) (表 89)

高校生の自傷行為に関連する要因の、多重ロジスティック回帰分析を行った。

男子では、「泣きたいほどつらい気持ちの頻度が高い」(調整 OR=3.0)の<精神状態因子>、「学校を楽しみと思えない」(調整 OR=1.9)の<学校関連因子>、「毎日を丁寧に生きようとしていない」(調整 OR=2.0)、「アルバイト経験がある」(調整 OR=1.6)が自傷行為と統計的に有意の関連を示した。なお、「夜 10 時以降の外出頻度が高い」(調整=1.5)と「周囲の人に非常に腹が立つ頻度が高い」(調整 OR=1.6)では自傷行為との関連傾向(いずれも P値=0.053)を示した(表 88)。

一方、女子では、「泣きたいほどつらい気持ちの頻度が高い」(調整 OR=3.1)、「周囲の人に非常に腹が立つ頻度が高い」(調整 OR=1.9)などの<精神状態因子>と自傷行為と有意の関連を示した。さらに、「学校を辞めたいと思ったことがある」(調整 OR=2.1)などの<学校関連因子>や、「放課後の子どもの行動を親が把握していない」(調整 OR=1.6)の<家族関係因子>、加えて「毎日を丁寧に生きようとしていない」(調整 OR=1.5)で自傷行為と有意の関連を示した(表 89)。ただし、女子では「携帯電話のメール交換頻度が高い」は自傷行為と有意の逆関連(調整 OR=0.68)が観察された。

表 88. 高校生の自傷行為と関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (男子)

変数		調整 OR	95%CI	P値
アルバイト経験	なし	1.00		
	あり	1.63	1.11-2.40	0.012
夜 10 時以降の外出頻度	全く/めったにない	1.00		
	たまに/よくある	1.49	1.00-2.23	0.053
携帯電話メール交換頻度 (一日)	10 回以下	1.00		
	11 回以上	0.95	0.65-1.38	0.783
家庭学習時間	2 時間以上	1.00		
	1 時間以内	0.83	0.51-1.34	0.443
泣きたいほどつらい気持ちの頻度	なし	1.00		
	あり	2.95	1.85-4.69	0.000
周囲の人に非常に腹が立つ頻度	全く/たまにあった	1.00		
	時々/よくあった	1.57	1.00-2.46	0.053
先生は生徒に平等に接しているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.09	0.73-1.62	0.676
学校を辞めたいと思った経験	いいえ/わからない	1.00		
	はい	1.28	0.86-1.90	0.230
学校が楽しいか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.87	1.23-2.85	0.003
将来の夢	ある/わからない	1.00		
	ない	0.98	0.63-1.53	0.935
毎日を大切に生きようとしているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.95	1.30-2.92	0.001
家族との会話頻度	よく/たまにする	1.00		
	ほとんど/全くない	1.15	0.65-2.02	0.630
家族そろっての食事頻度	週 2 回以上	1.00		
	週 1 回以下	1.01	0.69-1.48	0.964
放課後の行動を親が把握しているか	はい	1.00		
	いいえ	1.26	0.87-1.83	0.222
親は子どもを理解しようとしているか	はい	1.00		
	いいえ	1.59	0.91-2.77	0.101
家庭に個室を持っているか	いいえ	1.00		
	はい	1.16	0.71-1.90	0.554

表 89. 高校生の自傷行為と関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (女子)

変数		調整 OR	95%CI	P値
アルバイト経験	なし	1.00		
	あり	1.30	0.96-1.74	0.087
夜 10 時以降の外出頻度	全く/めったにない	1.00		
	たまに/よくある	1.23	0.91-1.65	0.175
携帯電話メール交換頻度 (一日)	10 回以下	1.00		
	11 回以上	0.68	0.50-0.91	0.011
家庭学習時間	2 時間以上	1.00		
	1 時間以内	1.04	0.72-1.49	0.843
泣きたいほどつらい気持ちの頻度	なし	1.00		
	あり	3.11	1.65-5.86	0.000
周囲の人に非常に腹が立つ頻度	全く/たまにあった	1.00		
	時々/よくあった	1.89	1.29-2.76	0.001
先生は生徒に平等に接しているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.17	0.85-1.59	0.334
学校を辞めたいと思った経験	いいえ/わからない	1.00		
	はい	2.09	1.52-2.87	0.000
学校が楽しいか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.37	0.97-1.93	0.074
将来の夢	ある/わからない	1.00		
	ない	1.11	0.78-1.58	0.559
毎日を大切に生きようとしているか	はい/わからない	1.00		
	いいえ	1.50	1.07-2.11	0.019
家族との会話頻度	よく/たまにする	1.00		
	ほとんど/全くない	1.57	0.91-2.72	0.104
家族そろっての食事頻度	週 2 回以上	1.00		
	週 1 回以下	1.13	0.85-1.50	0.391
放課後の行動を親が把握しているか	はい	1.00		
	いいえ	1.59	1.19-2.13	0.002
親は子どもを理解しようとしているか	はい	1.00		
	いいえ	1.29	0.86-1.95	0.224
家庭に個室を持っているか	いいえ	1.00		
	はい	0.84	0.62-1.14	0.265

全国高校生と保護者の生活/意識調査結果のまとめ (2005年)

(社団法人) 全国高等学校 PTA 連合会との共同研究

注：調査結果のうち、性感染症/HIV 予防に関連する可能性のある項目のみ抜粋

(1) 家庭生活

◆家族との会話頻度

「よく話をする」生徒は、男子 6 割、女子 8 割、会話相手は、母親、兄弟姉妹、父親の順。保護者の高校生時代の会話頻度は、現在より約 1 割減。

◆家族そろっての食事頻度

毎日一緒に食事をしている生徒は 3~4 割、週 1 回以下も 3 割近く存在。保護者が高校生だったころは、毎日家族全員で食事は 6 割前後で、家庭環境の顕著な変化を示唆。

◆家庭での一日の平均学習時間、テレビ視聴時間

一日平均学習時間は男女とも 8 割が 1 時間以内。一日のテレビの平均視聴時間は男女とも約 2 時間が最多。

◆携帯電話所持・使用状況

男女とも 9 割以上が携帯電話所持。「一日の平均送受信メール回数」は、男子「0~5 回」、女子「40 回以上」が最多。

◆夜 10 時以降の外出頻度・外出先

夜間外出が「よくある」生徒は男女とも 1 割前後。外出先は、「コンビニ」「友人宅」が最多。

◆尊敬している人

「現在、尊敬している人」(現在の高校生)：「父親」は男女とも 3 割、「母親」は男子 3 割、女子 4 割が尊敬。男女とも自分と同性の保護者を尊敬する傾向。

「高校生時代に尊敬していた人」(保護者)：「父親」は男女とも 5 割、「母親」は男性 4 割、女性 5 割で、特に「父親」に対する尊敬が減少。

(2) 学校生活・友人関係

◆学校生活

「学校生活を楽しんでいる」は男女とも 7 割近く。

「学校をやめたいと思ったことはある」は男女とも 4 割前後。

「先生は、すべての生徒に平等に接していると思わない」は、男女とも 6 割以上。

◆友人関係

「心から信じられる友達がいる」は、現在の高校生では 6~7 割。保護者の高校時代では、7~8 割と 1 割多。

(3) 生き方および精神状態

◆生きる姿勢・将来への夢

「一日一日を大切に生きようとしていない」が 1~2 割程度存在。

「将来、実現したい夢がない」は男女とも 2 割弱存在。

◆精神常態

「泣きたくなるほどつらい気持ちになることがよくあった」は 1~3 割 (女子>男子)。

「周囲の人に非常に腹が立つことがよくあった」は男女とも 3 割以上。

(4) 各種経験

◆アルバイト経験

高 2 の 3~4 割にアルバイト経験 (女子>男子)、7 割は「自分の欲しいものを買うため」。

◆喫煙経験/飲酒経験

喫煙経験は男女とも約 2 割前後。「常習喫煙者」は、男子 8%、女子 4%。

飲酒経験は男女とも約 7 割。「常習飲酒者」は男子 8%、女子 5%。

◆各種問題行動の経験

「出会い系サイト」は男子 4%、女子 6%で、昨年度より減少傾向。

「援助交際」は、男子 1%、女子 2%で、昨年と同程度。
「大麻・スピード・エクスタシー・シンナーなどの薬物使用」は、男子 3%、女子 1%。
「万引き」は男女とも約 1~2 割にも達する。
「暴力を受けた（被害）」は男子 17%、女子 6%。
「自傷行為」は、男子 5%、女子 10.0%にも達する。

(5) 性関係に対する意識

◆一般論として高校生の性関係の容認度

「かまわないと思う」は約 5~6 割前後（男子>女子）。
「かまわないと思う」+「どちらかと言えばかまわないと思う」は男女とも 7 割以上。

◆自分のこととして高校生の性関係の容認度

「かまわないと思う」は約 4~5 割。
「かまわないと思う」+「どちらかと言えばかまわないと思う」は男子 7 割、女子 6 割弱。
一般論と自分自身の容認意識には差あり。差は女子が顕著。

◆保護者が昔考えていた高校生の性関係の容認度（保護者の高校生時代）

「かまわないと思っていた」は男性 11%、女性 3%。
「かまわないと思っていた」+「どちらかと言えばかまわないと思っていた」は約 1~2 割。
現在の高校生の容認意識とは顕著な差が存在。

(6) 性行動

◆性経験率

高 2 で男子 18%、女子 23%で昨年度よりやや減少傾向。

◆初交年齢（学年）

男女とも高 1 が最多（経験者の 4 割前後）。

◆これまでの性行為の相手の累積数

「これまでの相手が 1 人」は男女とも半数以下。
「これまでの相手が 4 人以上」は男女とも約 2 割。昨年度とほぼ同じ結果。

◆過去 3 ヶ月間のコンドーム使用状況

「毎回使用者」は半数程度。昨年度より女子で増加傾向。

高校生の性意識、性経験、万引き、自傷行為に関連する要因(まとめ)

1. 高校生の性関係容認意識と関連する要因(多重ロジスティック回帰分析)

男子①携帯電話のメール交換頻度が高いこと(オッズ比「OR」>2)

- ②夜間外出頻度が高いこと(1.5<OR<2)
- ③家庭での学習時間が少ないこと(1.5<OR<2)
- ④先生が生徒に平等に接してくれないこと(1.5<OR<2)
- ⑤学校を辞めたいと思っていること
- ⑥アルバイトの経験があること
- ⑦家庭に個室を持っていること

女子①携帯電話のメール交換頻度が高いこと(OR>2)

- ②アルバイトの経験があること(1.5<OR<2)
- ③夜10時以降の外出頻度が高いこと(1.5<OR<2)
- ④放課後の子どもの行動を親がほとんど知らないこと(1.5<OR<2)
- ⑤家庭に個室を持っていること(1.5<OR<2)
- ⑥学校を辞めたいと思っていること
- ⑦先生が生徒に平等に接してくれないこと
- ⑧将来実現したい夢がないこと

2. 高校生の性経験と関連する要因(多重ロジスティック回帰分析)

男子①携帯電話のメール交換頻度が高いこと(OR>4)

- ②夜10時以降の外出頻度が高いこと(OR>2)
- ③アルバイトの経験があること(OR=2)
- ④家庭に個室を持っていること(1.5<OR<2)
- ⑤学校をやめたいと思っていること(OR=1.5)
- ⑥周囲の人に非常に腹が立つ頻度が高いこと
- ⑦泣きたいほどつらい気持ちになったことがあること
- ⑧家族そろって食事をする回数が少ないこと

女子①携帯電話のメール交換頻度が高いこと(OR>6)

- ②泣きたいほどつらい気持ちになったことがあること(OR>2)
- ③アルバイトの経験があること(OR>2)
- ④家族との会話頻度が少ないこと(1.5<OR<2)
- ⑤学校をやめたいと思ったことがあること(1.5<OR<2)
- ⑥夜10時以降の外出頻度が高いこと(1.5<OR<2)
- ⑦毎日を丁寧に生きようとしていないこと
- ⑧家庭に個室を持っていること
- ⑨家族そろって食事をする回数が少ないこと

3. 高校生の万引きに関連する要因(多重ロジスティック回帰分析)

男子①夜 10 時以降の外出頻度が高いこと (OR=2)

- ②アルバイトの経験があること(1.5<OR<2)
- ③家庭での学習時間が少ないこと(1.5<OR<2)
- ④先生が生徒に平等に接してくれないこと(1.5<OR<2)
- ⑤家族との会話頻度が少ないこと(1.5<OR<2)
- ⑥携帯電話のメール交換頻度が高いこと(1.5<OR<2)
- ⑦学校を辞めたいと思ったことがあること(1.5<OR<2)
- ⑧放課後の子どもの行動を親が知らないこと

女子①家族との会話頻度が少ないこと (OR>2)

- ②夜 10 時以降の外出頻度が高いこと(1.5<OR<2)
- ③学校を辞めたいと思ったことがあること(1.5<OR<2)
- ④先生が生徒に平等に接してくれないこと(1.5<OR<2)
- ⑤アルバイトの経験があること(1.5<OR<2)
- ⑥家庭での学習時間が少ないこと(1.5<OR<2)
- ⑦放課後の子どもの行動を親が知らないこと

4. 高校生の自傷行為に関連する要因(多重ロジスティック回帰分析)

男子①泣きたいほどつらい気持ちになったことがあること (OR=3)

- ②毎日を丁寧に生きようとしていないこと (OR=2)
- ③学校が楽しいと感じられないこと(1.5<OR<2)
- ④アルバイトの経験があること

女子①泣きたいほどつらい気持ちになったことがあること (OR=3)

- ②学校を辞めたいと思ったことがあること (OR>2)
- ③周囲の人に非常に腹が立つことが多いこと(1.5<OR<2)
- ④放課後の子どもの行動を親が知らないこと
- ⑤毎日を丁寧に生きようとしていないこと (OR=1.5)

最後に

2005年度に本若者予防グループが実施した研究成果の一部を報告書としてまとめた。観察研究（予防介入に先行する形成調査として実施）のうち、D 県中学生・高校生および小中高の保護者に対する性意識調査、および E 県小学生および保護者に対する生活実態調査は、調査が2・3月に実施された関係上、現在、データ入力中であるため、今回の報告書には掲載できなかった。

以上、これまで5年間の本研究グループ（WYSHプロジェクト）の取り組みにより、中高生に対する基本的なエイズ/性感染症予防教育モデルが確立された（詳細は「地方自治体における青少年エイズ対策/教育ガイドラインー若者の性行動の現状と WYSH プロジェクトの経験ー」を参照のこと）。今後は、上記 WYSH 教育の全国普及と同時に、さらに経験を蓄積しつつ、小学生から大学生まで、様々な発達段階の若者に対応できる一連の予防教育モデルとして発展させたいと考えている。加えて、若者の中でも感染リスクにさらされやすい集団に対する学校の保健室、保健所の相談・検査サービス、地域の相談室等における予防対策/教育モデルの開発へも研究を拡大していきたいと考えている。

研究成果

著書、論文、学会発表に関しては主任研究者の総括報告部分を参照のこと。セカンドオーディエンスを特に対象とした予防啓発普及活動の一環として講演活動を行っているが、参考までに一般講演のリストを付記する。

平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日までの講演リスト

1 京都市教育委員会体育健康教育室 主催	平成 17 年 04 月 26 日
2 大阪市保健所感染症対策課 主催	平成 17 年 05 月 10 日
3 国際ソロプチミスト小松 主催	平成 17 年 05 月 21 日
4 福島県教育庁保健福祉部 主催	平成 17 年 05 月 23 日
5 熊本県公立高等学校 PTA 連合会 主催	平成 17 年 06 月 01 日
6 高知県教育委員会 児童生徒支援課 主催	平成 17 年 06 月 03 日
7 京都府立高等学校 PTA 連合会 主催	平成 17 年 06 月 07 日
8 (財)結核予防会結核研究所 国際協力部国際研修科 主催	平成 17 年 06 月 08 日
9 国立保健衛生科学院 主催	平成 17 年 06 月 09 日
10 福岡県教育委員会 生涯学習課 主催	平成 17 年 06 月 14 日
11 京都市中学校 PTA 連絡協議会 母親委員会 主催	平成 17 年 07 月 05 日
12 「第 27 回近畿学校保健連絡協議会」 奈良県教育委員会 主催	平成 17 年 07 月 14 日
13 和歌山県教育庁学校教育局健康対策課 主催	平成 17 年 07 月 15 日
14 長崎県立諫早高等学校 主催	平成 17 年 07 月 19 日
15 「全国養護教諭研究大会」 奈良県教育委員会 主催	平成 17 年 08 月 05 日
16 「小松市立松陽中学校教職員・PTA・地域」 国際ソロプチミスト小松 主催	平成 17 年 08 月 11 日
17 京都府綾部市学校保健会 性教育推進委員会 主催	平成 17 年 08 月 29 日
18 「高知県 PTA 研究大会」 高知県教育委員会生涯学習課 主催	平成 17 年 09 月 03 日
19 「大学コンソーシアム京都」 京都産業大学 全学共通教育センター 主催	平成 17 年 09 月 08 日
20 第 3 回秋田県 HIV 治療研究会主催	平成 17 年 09 月 09 日
21 「小・中学校性教育研究協議会」 山口県教育委員会 主催	平成 17 年 09 月 13 日
22 「STOP AIDS パネルディスカッション」 東京恵比寿ロータリークラブ 主催	平成 17 年 09 月 22 日
23 広島県安芸高田市 PTA 連合会 主催	平成 17 年 10 月 01 日
24 「医療従事者感染症対策研修会」 長野県医師会 主催	平成 17 年 10 月 22 日
25 和歌山県高等学校 PTA 連合会 主催	平成 17 年 11 月 12 日
26 「九州地区高等学校 PTA 連合会シンポジウム」 熊本県公立高等学校 PTA 連合会 主催	平成 17 年 11 月 27 日
27 「第 18 回日本性感染症学会・学術大会」 産業医科大学 医学部 泌尿器科 主催	平成 17 年 12 月 04 日
28 「児童生徒の心身の健康問題に対応するための指導者の養成を目的とした研修」 独立行政法人教員研修センター 主催	平成 17 年 12 月 08 日
29 北海道高等学校 PTA 連合会 主催	平成 17 年 12 月 11 日
30 長崎県庁 福祉保健部医療政策課 主催	平成 17 年 12 月 16 日
31 国際ソロプチミスト京都一北山 主催	平成 17 年 12 月 22 日
32 第 7 回日本 HIV 歯科医療研究会 主催	平成 18 年 01 月 09 日
33 「第 37 回和歌山県学校医研修会」 和歌山県医師会 主催	平成 18 年 01 月 15 日
34 「山形県学校保健研修会」 山形県教育委員会、学校保健連合会 共催	平成 18 年 01 月 25 日
35 「宮崎県性教育研究大会」 宮崎県性教育研究会 主催、教育委員会・医師会 共催	平成 18 年 01 月 28 日
36 姫路市養護教諭研究会 主催	平成 18 年 02 月 02 日
37 「性教育・エイズ予防啓発研修会」 京都府教育委員会、京都府山城北保健所 共催	平成 18 年 02 月 08 日
38 全国高等学校 PTA 連合会 主催	平成 18 年 02 月 12 日
39 「第 2 回健康教育推進協議会」 青森県教育委員会 主催	平成 18 年 02 月 14 日
40 「エイズ予防教育シンポジウム」 鹿児島ロータリークラブ 主催	平成 18 年 02 月 18 日
41 「東予地区エイズ対策研修会」 愛媛県西条保健所 主催	平成 18 年 03 月 15 日
42 「健康教育推進協議会」 和歌山県教育庁健康体育課 主催	平成 18 年 03 月 23 日

ここにシールを
はってください

平成17年度

全国中学生 意識調査

中学生
生用

ここにシールを
はってください

このアンケートは、厚生労働省エイズ予防研究推進者予防グループによる調査です。

最近、日本の若い人たちの間で、エイズや性感染症（性関係でうつる病気）が急速に広がっているため、どのような予防教育が今の中学生の皆さんに必要なかを調べるために、この調査を行っています。

このアンケートの結果は、「○○○」という意見の人が何人いた」「○○○」という意図のない人が何人いた」という数字でまとめられ、予防教育の内容を考えるときの大切な参考になります。

みなさんには、立ち入ったことを質問しますが、このアンケートは、名前を書く必要はありませんので、どうかありのままを答えてください。どうしても答えたくない部分は、何も書かなくてもよいです。

また、アンケートは封をしたまま厚生労働省エイズ予防研究推進者予防グループに送られるため、学校の先生方がみなさんの回答を見ることは絶対にありませんので、1問ずつよく読んで、正直に答えてください。

よろしく、お願いします。



調査代表 木原 雅子

厚生労働省HIV感染症研究推進者予防グループ代表
京都大学大学院医学研究科社会疫学分野助教

● アンケート用紙は、お選したシールで封をし、名前を書かずに提出してください。

● この調査についての質問は、下の「お問い合わせ先」まで、ご連絡ください。

◆◆◆お問い合わせ先◆◆◆

〒605-6501京都市左京区吉田近衛町 京都大学大学院医学研究科社会疫学分野

電話:075-753-4354 FAX:075-753-4359

ここにシールを
はってください

まずはじめに基本的なことをおさしします

問1) あなたの性別をお答えください。(どちらかに○印)

1. 男 2. 女

問2) あなたの年齢と学年をお答えください。(「」に数字をかいてください)

「」歳 「」学年

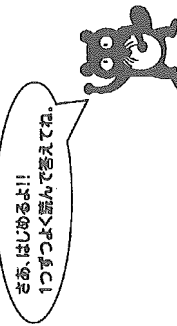
中学生活についておさしします

問3) あなたの中学校生活について教えて下さい。

それぞれあてはまる
番号にひとつ○印

	は	い	わ
	い	え	から
	い	え	ない
1. 学校はたのしいですか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>
2. 心から信じられる友達がいいますか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>
3. あなたに気軽に声をかけてくれる先生がいいますか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>
4. 校則はきびしいですか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>
5. 先生たちは、どの生徒にも平等にせつしてくれませんか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>
6. こまった時に、相談できる先生がいいますか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>
7. 今の学校が嫌で、転校したいと思ったことはありませんか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>

資料 1



あなた自身についておきします

問4) あなた自身について以下の質問に答えてください。

	それぞれあてはまる 番号にひとつ〇印		
	は い	い え	わ か ら な い
1.ひとに自慢できるところがありますか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>
2.自分が好きですか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>
3.あなたは同性の友達から好かれる方だと思えますか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>
4.あなたを大切にしてくれる大人(家族、先生など)がいますか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>
5.あなたは毎日、何か(例:スポーツ、勉強、芸術、家の手伝い、誰かのお世話など)を一生けんめいして生きようとしていますか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>
6.将来の夢がありますか?	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>

日常生活についておきします

問7) あなたは携帯電話を持っていますか。(どちらかに〇印)

1. はい 2. いいえ

問8) タバコをすったことがありますか。(どれか1つに〇印をつけ、 に数字を書いてください)

1. すったことがない
 2. すったことがあるが、今はすわない
 3. たまにすう
 4. よくすう(1日 本)

問9) お酒をのんだことがありますか。(どれか1つに〇印をつけ、 に数字を書いてください)

1. のんだことがない
 2. のんだことがあるが、今はのまない
 3. たまにのむ
 4. よくのむ(週 回)

問10) あなたは次にあげたことを経験したことがありますか。(あてはまるものすべてに〇印)
 (注:意味のわからない言葉はとばして先に進んで下さい)

1. 出会い系サイト
 2. 援助交際(お金をもらって年上の人とつきあうこと)
 3. 大麻・ハッパ・ハッパ
 4. スピード・S
 5. シンナー
 6. どれも経験がない

問5) 1学期中に、泣きたいほどつらい気持ちになったことはありませんか?(ひとつだけ〇印)

1. よくあった
 2. とどきあった
 3. たまにあった
 4. 一度もなかった
 5. わからない

問6) 1学期中に、学校の人(先生や友達など)や家族に対して非常に腹が立ったことがありますか?(ひとつだけ〇印)

1. よくあった
 2. とどきあった
 3. たまにあった
 4. 一度もなかった
 5. わからない